



## 大人の仲間入りです

会場入り口で記念撮影

令和4年度 はたちを祝う式典

12月  
定例会  
特集

注目の  
今月の

- |             |      |
|-------------|------|
| 町民議会を開催しました | (3)  |
| 邑学館連続増額補正   | (11) |

新春のごあいさつ



## 財政の安定化を図り 諸課題に挑戦する

邑南町議会  
議長

石橋純二

あけましておめでとう  
ございます。町民の皆さまには、日頃より議会活動へのご理解ご協力を  
たまわり、心よりお礼  
を申し上げます。  
振り返りますと、昨  
年はコロナ感染対策に重  
点を置きながら、かね  
てからの懸案事項でも  
あつたさまざまな大型  
事業着手に向け審議  
を深めました。石見中  
学校改築工事、邑智  
病院建替工事、道の駅  
瑞穂の再整備、邑学館

新館別棟工事などです。  
本年から本格的な工事が  
が始まります。厳しい時  
代ではありますが、町の  
財政の安定化を考慮し  
ながら議会の役割と責任  
を認識し、持続可能な  
町づくりを進めてまいり  
ます。  
本年はアフターコロナの  
安心した日常生活が戻  
り、皆さまにとりまし  
てより良き年となりま  
すようお祈り申し上げ、  
新年のごあいさつといたし  
ます。



多くの傍聴者の参加をいただいた議場のようす

# 第1回 町民議会を開催

11月4日と12月5日の2日に分けて、初めての町民議会を開催しました。合わせて12名の町民議員の皆さんにご参加いただき、貴重なご意見をた

まわりました。次ページから概要を紹介します。

また、このようすはケーブルテレビでも長尺番組として放送されます。

## 町民議会で政治に関心を

違った視点での質問に思いを新たに

邑南町議会議長 石橋純二

近年、地方議員のなり手不足が全国的な課題になっています。

邑南町議会では議会活動活性化のため、毎年、町民の皆さんとの意見交換会を実施してきました。

議会活動に何とか興味を持っていただきたいの思いから、一昨年、議会運営委員会に町民議会の開催を提案し、町長をはじめ執行部の協力を得て実行することができました。

当初は応募者があるかと心配していましたが何と16名の申し込みがあり、2日に分けて12名の議員が登壇をしました。それぞれの町民議員が日頃の思いを堂々と述べていました。中でも今回はIターン、Uターン者の町民議員が多く、違った視点での質問もあり、町長をはじめ執行部も真剣

に答えていました。

私たち議員も日頃気付かないことがあり、学ぶ所も多く今後の議会活動に活かしていきたいと思いました。

## 面白い取組み ぜひ継続を

傍聴者の感想

アグサポ隊で神紅の栽培研修を受けています。今回は友人が参加したので応援に来ました。

Iターンなのですが、都会では考えられない取組みだと思います。議場にも初めて入りましたし、現在の邑南町を知る良い機会になりました。今は単身赴任ですが、定住が確定したら私も参加したいと思います。ぜひ継続していただきたいと思えます。

# 「こんにちは赤ちゃん」 復活を

森脇すえ子 さん



森脇すえ子議員

私は、赤ちゃんが生まれたと聞くと1日楽しく明るい気持ちになる。邑南町にも、若い人が多いんだなとうれしくなる。無線放送に対して少数の反対があったと聞いたが、少数の意見に行政が引っ張られ、それは聞かないといけないのか。説明して、わかってもらう努力をしたか。

無線放送をやめて、3年から4年くらい経ったと思うが、説明してわかってもらえる時期は来ているのではないか。日本

一の子育て村を掲げているのに、とても残念だ。人口が減るといって中、明るいニュース「こんにちは赤ちゃん」を多くの人が望んでいる。

**答** 意見が寄せられれば協議する

河野町民課長

赤ちゃん誕生の放送は、邑南町らしく、とてもいいというご意見もある一方で、子どもを授かることができない人にとっては大変な苦痛であるとか、心情に配慮がないなど、苦痛に思う人がいる限りやめるべきといったご意見が、議会のアンケート、男女共同参画推進委員会、女性会議、人権擁護委員会など、多方面から寄せられた。

これらのご意見を重く受けとめ、日本一の子育て村推進本部会議において協議された結果、事業開始5年目の節目である、令和2年3月末で終了したという経緯がある。

# ブドウ「神紅」 規格外品はどうする

辻 聡志 さん



辻聡志議員

現在邑南町では、「神紅」の産地化に向けて、毎年その規模を拡大している。しかし、この栽培においては、発色と糖度など県の定めた厳しい基準のクリアについてリスクがある。

今年試験栽培していた中で出荷基準を満たす着色のよい房はほとんどなかった。それほど「神紅」の栽培は、他の品種に比べ難しい。

県内で既にブドウ栽培されている農家であっても、廃棄を含め、多ければ3割ほどが規格外品となっている。

邑南町では、「神紅」の栽培面積10ヘクタールを目標としている。これは収量にすると、房数で約20万房になる。この内3割の規格外で6万房、2割で4万房、1割でさえ、2万房の規格外品が発生する。この規格外「神紅」の対策をどう考えているのか。

**答** 加工品開発や販路拡大に取り組む

白須産業支援課長

基準を満たさないものは、加工用に回すことになる。このため、加工用の利用を伸ばし、付加価値をつけることも必要だ。

本町では、島根県の補助事業を活用して、加工品の施策に取り組んでいる。しかし、大量の規格外品の対応については近隣の大きな業者などにも協力をいただく必要がある。また、販路拡大についても取り組んでいきたい。

# ブドウ「神紅」 指導体制の改善を



日向真奈美 さん

日向真奈美議員

剪定した「神紅」の枝を悪用されないために、チップ状に裁断するウッドチップパーの早期の導入を検討いただきたい。また、すぐに導入できない場合は廃棄する枝の処分はどうするのか。

白須産業支援課長

剪定した枝の処分に、ウッドチップパー導入の必要性はあると考える。生産者やJA、アグリサポートおおなん、島根県等の関係機関と協議して整備に向け検討を進めたい。今期の枝の処分につ

いては、課内等で検討し研修生ミーティングの場で回答する。

日向議員

研修生のビニールハウスに、指導員が今まで1回も巡回されていないところもある。早急に指導体制の見直しを、普及センターなど関係機関へ申し入れできないか。

答 島根県とともに  
新たな指導体制を

白須産業支援課長

邑南町としては県の指導員に頼るだけでなく、専門の指導員の確保も必要と考えている。アグリサポートおおなんやJA等と協議し検討したい。

石橋町長

令和5年度の邑南町の島根県への重点要望の中に、「神紅」の産地化に向けた一層の支援を盛り込んでいる。「神紅」の生産者にタブレットを配備して、試験場の方々のやり取りや指導をいたく体制整備を提案し賛同いただいた。

# 町内在住の学生への 支援、対応は平等か



亀山 陽叶 さん

亀山陽叶議員

邑南町に住んでいる学生が、町内の学校に通学する場合の交通費は無料になっている。しかし、町外の学校を選択した場合は、通学費の助成や寮費の補助などはあるか。通学費については、将来世帯への期待も込めて無料にならないか。

答 通学定期発行  
に補助

田村地域みらい課長

町内外に関わらず、町営のバスで通学する場合

は通学定期の発行に補助している。

矢上高校や島根中央高校に関しては、自己負担分は学校を支援する会から助成している。

亀山議員

フィンランド共和国への交流派遣事業の対象者が、町内の学生に限定されたのはなぜなのか。

大橋教育長

町内の学校では、共生社会の実現にむけてさまざまな取組みをしている。中でもフィンランドとは有形無形の交流を行っているっており、対象者を町内通学者に限定した。

亀山議員

町外に通学する学生であっても、事前学習を重ねて対象となるよう柔軟な対応はできたのではないかと。また、このような事業に興味を持たれる大人も対象にした交流は行われたのか。

大橋教育長

今回の提案を参考に、大人も含めた参加対象や交流の幅を広げていきたい。

# 脱炭素の取組みは 景観を損なわないか

井上 英司 さん



井上英司議員

本町の石州瓦の景観が太陽光パネルで損なわれ、町の景観にとってマイナスにならないか。

**答** 少なからず影響を与える

白須産業支援課長

町の観光戦略に、美しいまちづくりとあり、赤瓦の屋根がなす景観が美しい町をなす要因のひとつである。邑南町の再生最大限導入計画の基本施策には、住民や事業者、行政などの関係者が

周囲の景観への配慮などについて話し合い、設置可能なあらゆる場所に太陽光発電が設置され、CO2排出削減を推進していくとされている。

太陽光パネルを屋根に設置する場合も含め、一定の景観への配慮が必要であるということ前提に計画されていると考え、邑南町観光戦略にある美しいまちづくりに少なからず影響を与えていると認識している。

井上議員

少なからずとも影響があるということは心配である。

白須産業支援課長

美しいまちづくりと脱炭素というまちづくりの方向性や理念を両立させたいと考えている。

井上議員はその他に、

公共建設と景観について、邑南町の地域資源を活用した木質バイオマス発電、小水力発電を軸とした推進について、太陽光発電設備を規制する条例制定について質問しました。

# 町内企業へ 健康経営の関与は

種 宏樹 さん



種宏樹議員

企業へ出張し各種ハラメントや組織心理的安全性、ジエンダー、チームビルディング（信頼関係がある仲間づくり）ウエルビーイング（幸福感）など昨今注目されている事柄に関与していく考えがあるか。町として企業の働き方改革や健康経営を支援する考えは。

**答** 各課で連携して取り組む

石橋町長

今望まれている新しい

大事なテーマだ。坂本保健課長

健康増進に関して、町内企業と前向きに取り組んできているが、コロナ対応で進んでいない。従業員の健康維持は生産性も上げるし研究していきたい。

種議員

公民館主事は、主体性の引き出し方や効果的な会議の手法などを学んでいる。

役場職員にも公民館主事の経験者が多いことを考えると、すぐに取り組み現場に生かすことができる。実際、UIターンで町に移住して来たのに、なかなか馴染めず結局また出て行くという事例が多い。せっかく邑南町に来てくれたのに残念だ。

親の働く環境が良好であることは、子どもの良い家庭環境、教育へと繋がるし、子育て施策にもなり、邑南町のブランド形成にも繋がる。社会教育主事養成講習を受けた職員が多数いるのだから、活用してもらいたい。

# 移住者を増やすために お試し住宅の設置を

佐々木敏影 さん



佐々木敏影議員

空き家を探すには、今のサポート状況では足りない、移住者を増やすためのお試し住宅の設置を求める。また、お試し住宅が難しいのであれば、空き家を譲ってほしい。

答 賃貸住宅の整備を優先している

田村地域みらい課長

賃貸アパートや空き家が不足していて、お試し住宅は設置していない。移住したいと相談をいただいても移住に至らない

ケースが出ています。町としては、移住したいと決めて、相談する方への住まいの整備、とりわけ二階が高い賃貸住宅の整備を優先している。

一定期間、邑南町に滞在したいと問い合わせをいただいた際は、民泊やゲストハウス、シェアハウスを案内している。

個人でお試し住宅を整備する場合は、邑南町民間賃貸住宅建設支援事業の改築事業がある。

令和3年から住宅相談センターを開設し、空き家バンク制度を見直し、民間事業者と共同で運営している。

空き家の譲渡については、来年度に空き家所有者向けの相談会を計画しているので、参加していただきたい。

佐々木議員はその他に、福祉としての多目的スペースの設置について質問し、NPO法人の担当課、担当部署とともに相談に対応すると答弁がありました。

# 国民スポーツ大会、 障害者スポーツ大会 への対応は

日高 健吾 さん



日高健吾議員

2030年に島根県で開催が予定されている国民スポーツ大会と、全国障害者スポーツ大会に対応する、町の考えは。

答 軟式野球開催を希望している

三上生涯学習課長

令和2年に市町村連絡会が開催され、開催地開催競技の希望がとられ、邑南町は、成年男子軟式野球をいわみスタジアムと瑞穂球場での開催を希望している。軟式野球を

含む、開催地の決定していない競技が、現在調整中である。これらについては、12月に開催が予定されている準備委員会総会で、正式な発表がある。

日高議員

大会の開催地として関係を持つだけでなく、邑南町に今いる小学校以上の方は、実際に選手として参加できる可能性がある子どもである。

会場を誘致するだけでなく、国民スポーツ大会に参加できる子どももの育成にも支援事業があるので、実際に競技者として島根県を代表する選手育成も、しっかりやっていただきたい。

# 健康経営優良法人 制度の導入を

柘植 賢志 さん



柘植賢志議員  
経済産業省が薦めている健康経営優良法人認定制度。世の中はこの制度ありきの方向に向かっており、すでに町内では2社が認定されている。必須項目に実際の健康増進活動があり、邑南町の取り組みであるヘルスツーリズムや、公民館事業、地区別戦略などの健康増進イベントに企業として従業員の参加を促せば、健康増進と共に地域との交流もできる。

併せて、邑南町は介護と医療費用の抑制率が高

く、お達者な方が多い事実もあり、実績もある。この制度は地方公共団体でも取得可能なので、ぜひ邑南町役場でも取り組んで、官民一体となって健康な町づくりをめざしてもらいたい。

フレックスタイム制度を導入した邑南町は町を挙げて健康経営に取り組んでいるし、実際お達者な方が多い。となれば、全国的にも脚光を浴びること間違いはない。

答 研究して

いきたい

大賀総務課長

現在は健康経営優良法人制度に申請していない。取り入れている自治体も多いようだ。より良いサービスの提供に寄与できるものとして、現在の取り組みと併せて研究していきたい。

# 一体感醸成に 町民大運動会を

石飛 正一 さん



石飛正一議員

合併後、18年が経過している。「まちづくり基本条例」には、町と町民が一体感を持つて取り組もうと示されている。その取組みを具体化するために、全町あがりの行事に取り組むことで、お互いを知り合うことができ、心が通い合うのではないかと。公民館単位で参加できる運動会をやるのではないかと。

答 一定程度の一体感  
は醸成されている

大賀総務課長

この間、スポーツや文化など様々な取組みがされてきた。旧町村の枠を超えて、行事への参加や交流が図られており、邑南町としての一体感は図られていると考える。

三上生涯学習課長

バレーボール、グラウンドゴルフ、野球などの大会を実施しており、あらゆる世代が一体となり交流しており、目的は果たしている。

石飛議員

それらは、趣味の集まりではないかと。垣根を取り払うために運動会をやってはどうか。

石橋町長

垣根はあると感じている。一体感の醸成には時間がかかるが、まずは、今やっていることを地道に積み重ねていくことが大事だと思う。

石飛議員はその他に、「アイデア承りボックス」を設置することや、各種審議会や委員会の女性比率をあげるべきとの提案しました。

# 農業後継者への 支援は



井上 至 さん

井上至議員

両親が亡くなった後、定年等で邑南町に帰り農業を継承しようとした時、家のリフォームや農機具等の更新に対する支援制度はあるのか。

**答** 中古農機具の  
福祉的市場の開拓

田村地域みらい課長

現在は、空き家その他のをリフォームする補助事業はやっていない。跡地活用のための空き家解体支援事業や民間賃貸住宅支援事業で住宅を必要

とする方が物件を確保できるための補助事業を行っている。

**白須産業支援課長**

農業後継者への支援は、国や県の支援事業もあるが専業農家等の条件があり、兼業等で農業継承される場合は、町の単独事業である「農産物直売所出荷農家支援事業」等を活用いただきたい。

それぞれの事業に応じた一定の要件があるので、機械導入等を検討される場合は、産業支援課にご相談いただきたい。

石橋町長

何らかの理由で農業をやめられた農家には、中古だけでなく十分使える農機等はあると思う。それを格安で提供いただき、必要な方に安く譲る福祉的市場を、行政等が仲介する取組みを研究することが大事だ。

井上議員はその他に、

町職員が行う声掛け運動、瑞穂支所への進入路の形状、満1歳の幼児を広報紙に掲載すること、  
について質問しました。

# 歴史、文化財担当に 「たたら課」を



三浦 幹雄 さん

**答** 総合的な保存活用  
計画策定後に検討

三浦幹雄議員

久喜銀山が国史跡指定になった今、町民の皆さんに文化財や歴史に対する関心を高めてもらいたい。

文化財の関係を生涯学習課から独立させ、なおかつ、担当の人材を増やすべきではないか。

また、郷土館の看板が国道沿いにならない。設置を望む。

三上生涯学習課長

看板設置については、町内全体の看板設置状況を調査し、道路管理者と協議しながら計画的に進めたい。

大橋教育長

現在、保存活用について総合的な計画を策定中である。その計画が策定されると、銀山も含めた邑南町の文化財の総合的な保存活用計画が、明確になってくると思う。その際は、計画の具現化について、人員配置を含めて判断したい。

三浦議員

原山の頂上付近にある、戦時中の飛行機監視所など、今やらなければ手遅れになることがかなりあると思う。それも含めて大事にしてもらいたい。

三浦議員はその他に、

公共施設の運営経費と料金のあり方や、観光客に対するインフォメーションと入り込み客の目標値、人口減少に対する対応について質問しました。

12月  
定例会

# 町長提出 23議案を可決



一般会計補正予算第10号に起立で賛成する議員

12月定例会を12月5日から14日までの会期で開催しました。町長提出議案23議案のうち4議案で反対討論が行われましたが、すべてを原案通り可決しました。全員協議会の協議事項は13件と多く(11〜13ページ参照)、議論の内容の濃い議会でした。その他、受理した請願1件と継続審議としていた陳情1件を採択しました。

## 主な議案の内容

「邑南町学校給食費条例の一部改正」は、食料費などの高騰により給食費を、小学校児童・教職員分を265円から281円に、中学校生徒・教職員分を300円から318円に、学校給食会職員分を265円から281円に値上げするものです。

「邑南町職員の定年等に関する条例の一部改正」は、地方公務員法の一部改正等で地方公務員の定年が段階的に引き上げられることに伴い、現行の条例に規定する定年年齢や再任用制度等の見

直しをするためのものです。

「邑南町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定」は、高齢職員の多様な働き方のニーズに対応するための方策の一つとして、定年延長制度の導入にあわせ、高齢者部分休業制度を導入するためのものです。

「邑南町子ども条例の制定」は、子どもや子育て世代を取り巻く環境は大きく変化しており、普遍的かつ継続的な子ども施策を続けるために、子ども施策の基本であり、地域社会全体で子育て・子育て環境をつくっていくための共通の理念として条例を制定するもので

す。

「令和4年度邑南町一般会計補正予算第8号」は、人事院勧告を受けて、正規職員、任期付フルタイム職員、任期付短時間勤務職員及び会計年度任用職員を対象として、月例給0・23%、勤勉手当を0・1箇月分引き上げ、また、再任用職員については、勤勉手当を0・05箇月分引き上げを行うための補正です。

「令和4年度邑南町一般会計補正予算第10号」は、物価高騰に伴う邑学館整備事業費の工事請負費を3225万3000円追加するものです。

## 邑学館新館別棟整備事業

# 連続の増額補正に侃々諤々

9月議会で可決した増額補正予算に続き、わずか3箇月後の今定例会で連続して増額補正予算が上程されました。異例な対応に各議員は敏感に反応し、全員協議会や質疑の場で相当な時間をかけて審議を行ない、賛成多数で可決しました。

議案124号「令和4年度邑南町一般会計補正予算第10号」は、邑学館新館別棟整備事業が、資材の高騰等により、工費が不足することが見込まれたため予算の増額を提案されたものです。工事に充てる追加金額は3225万3000円です。その財源は、合併特例債が3060万円、一般財源が165万3000円であり、この補正により工費は4億8889万7000円となります。この事業の増額補正に伴う設計額は、

かんかんがくがく

「島根県建築住宅センタ―」への第三者照査業務依頼を行ったことで、適正な設計額が算出されたとの説明もありました。また、この事業の全体予算も、ほとんどが過疎債等の有利な起債で賄われていることも説明され

ました。

質疑等の場では、予算の増額補正が安易頻繁に行われたことに執行部の姿勢が問われ、石橋町長は具体的対応を示したうえで遺憾と反省の意向を表明しました。その上で、この事業は矢上高校の生徒確保や高校存続の根幹に関わる取組みでもあるため、議会の理解を求めたいとの発言がありました。

討論は、反対2人、賛成1人が行いました。14ページをご覧ください。

## 学校給食費条例改正

# 4月から6%値上げ

小中学校の学校給食費を4月から値上げすることを定めた「学校給食費条例の一部改正」案が提案され、常任委員会、全員協議会で議論し、本会議で可決しました。

この改正案は、昨年10月の「食料費は保護者負

担とすることを原則とし、適切な保護者負担を検討すること」という学校給食審議会からの答申を受け、来年度以降の食料当りの給食費を、小中学校で265円から16

円、中学校で300円から18円、それぞれ値上げ

するものです。

常任委員会、全員協議会では、食料費高騰の現状や近隣他市町の状況から、改定の根拠が説明されました。また、町内のPTA会長への説明後、一定の理解は得られたと思うと報告がありました。

議員からは「物価高騰で生活困難に陥る家庭もある。給食も義務教育の一環として無償化すべきだ」「食料費の保護者負担は原則として認める

が、一般の物価高騰の折から政治判断として激変緩和が望まれる」とか「日本一の子育て村として給食費問題を考える」など、さまざま意見が出されました。

これに対して町長は、追加分(273万円)の財源について活用できる補助金・交付金を検討し、少しでも値上げ幅を抑える余地はあると答えました。

来年度予算で結果を確認したいと思います。



新館別棟の完成予想図



東学校給食センター

# 子ども条例を制定

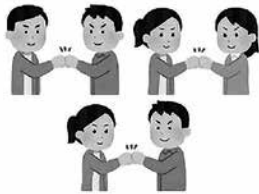
解釈について、しっかりと議論が必要!!

当初、9月議会で上程される予定でしたが、内容について再検討をされたため12月議会での提案となりました。(議会だより81号でお知らせしました)

邑南町では、「日本一の子育て村構想」に基づき、安心して子育てできる環境づくりを進めてきました。構想期間は終了しましたが、子ども子育て世代を取り巻く環境は大きく変化しています。今後子どもが健やかに育ち、学び、心豊かに暮らすことができ、安心して子育てができる環境づくりをめざし、その推進のために、子ども施策の基本となる事項について条例案が提案されました。

全員協議会では、子ども条例制定の意義や、条例案ができるまでの取組みの経過と内容の説明がありました。

議員からは、解釈が異なる部分もあるのでしっかりと議論が必要である



この発言があり、来年度の施策と予算への関わり、事業者の役割については、行政からの支援はあるのか、文中の文言の解釈などの質問がありました。また、町民に条例の理念をわかりやすく伝える必要性についての要望もありました。

子ども条例は、子育て・子育ての環境作りに「地域総がかり」で取り組むための基本理念です。子ども施策にどのような生かされていくのかが期待しています。



地元で管理されてきた作木口駅

## 三江線鉄道公園

# 作木口駅を追加

三江線廃線後、作木口駅周辺の住民を中心に除草作業などの保全活動に取り組んでおられ、現在でも訪れる方が多く、公園化への要望書が上田自治会より提出されていました。

邑南町三江線鉄道公園条例を改正し、作木口駅を公園に追加し、NPO 法人江の川鐵道が指定管

理する予定です。

周辺には桜並木もあり四季折々の風景を楽しむことができ、新たな観光スポットとして積極的なPRを望みます。

本定例会では方針が示され、3月定例会で条例改正を行い、4月から公園化が実施される予定です。

## 新型コロナウイルス感染症対策

# 1万円の商品券を配布

11月臨時会において、物価高騰に伴う家計の負担や地域経済への影響に鑑み、町民一人あたり1万円分の「地域応援おなん商品券」の交付を決めました。この商品券は、町民の生活を支えるとともに、地域における消費を喚起することで、地元事業者の売上拡大を図ることを目的としています。

この時は、令和5年2月1日までに出生または転入した方を交付対象者としていましたが、委員会や全員協議会で協議し、令和5年3月末までの出生者及び転入者にも交付すべきではないかとの意見がありました。

その後、執行部で検討され、12月定例会で対象者を令和5年3月1日から3月31日において、住民基本台帳に、新たに登録された方に拡大するための補正予算が提出され、可決しました。

この財源は、8月臨時会で決定したコロナウイルスの影響による減収事業者への支援金事業の内、不要となった金額を含む臨時交付金1億500万6000円と、12月追加分として一般財源122万9000円を充てています。



配布の始まっている商品券

## 香木の森公園、霧の湯

# 令和7年度から一括管理

香木の森公園の諸施設（バンガロー、香夢里、クラフト館及びハーブガーデン）は令和5年3月31日で指定管理が終了します。それらの施設と霧の湯、香遊館の今後の管理について考え方が示されました。

それによりまずと、公園の諸施設は、現在の指定管理者に引き続き2年間の指定管理を予定しています。また、霧の湯、香遊館は、現在、町が直接維持管理をおこなっていますが、この2年間で省工ネ改修工事などを行い、令和7年度からの再開をめざします。

令和7年度以降は、これらの一体的な指定管理が望ましいとして、一括管理をする指定管理者の公募を予定するとしています。

現在、それぞれの団体が管理することで、施設間の連携が取れていない

現状があります。特に、観光客からの問い合わせなどの場面で問題が生じています。

こうしたことを受け、一体的に施設を管理することで、総合的な観光振興を図ろうとするものです。

新たな香木の森公園と霧の湯に期待したいところです。



香木の森公園と霧の湯

## 公務員の働き方改革

# 定年延長65歳へ

地方公務員法の一部改正により、地方公務員の定年が段階的に引き上げられます。それに伴う条例の改正案を全員賛成で可決しました。現行の条例に規定する定年年齢や再任用制度、定年引き上げ後の60歳を超える職員

の給与の見直しなどを定めました。

併せて、高齢職員の多様な働き方のニーズに対応するため、高齢者部分休業制度を導入しました。これは、55歳以上の職員の申請により、定めに沿って勤務時間の一部を勤務しないことが認められる制度です。

審議の中で、職員定数条例や定員適正化計画の見直しについても質問し、定年延長後、状況を見ながら適切な職員数を検討すると答弁がありました。

## 討論

### 学校給食費条例の一部改正

**反対**

日高八重美 議員



学校給食費は無償化するべきだ。給食費の保護者負担を軽減する自治体が増えている現状に逆行する。物価高騰で厳しい生活を強いられている子育て世帯のためにも値上げはすべきでない。

### 個人情報保護法施行条例の制定

**反対**

日高八重美 議員

この条例の制定は、国の改正個人情報保護法の

施行に合わせ、名前、住所などを隠した加工情報の外部提供を可能にし、全国的なオンライン結合を可能にするため、国からの要求によるものである。

本町には既に個人情報保護条例がある。これを廃止し、新たな施行条例を制定する必要はない。

### 子ども条例の制定

**反対**

日高八重美 議員

この条例の前文では、子どもの権利条約の4つの理念「生命・生存・発達に対する権利」「子どもの最善の利益」「子どもの意見の尊重」「差別の禁止」が謳われ、評価できる。

しかし、「心身ともに安らぐことができる家庭環境をつくる」ことを「保護者の役割」とする点に反対する。そういう家庭環境をつくることを支援するのは行政の役割である。保護者に対して条例で求めることではない。

# 一般会計補正予算 第10号

**反対**

辰田直久 議員



この補正予算は、邑学館新館別棟整備工事に關わるものである。

9月補正では、物価高の影響が大きいためと理解した。しかし、3箇月間での再補正は異常である。入札準備や建築内容の精査などに怠慢はなかったか。議会に対する慢心はなかったか。非あるものは改め、対処し、理解を求める努力をするべきである。

また、この事業の目的には矢上高校存続もある。建設費を増額するよりも、町内中学生の進学を進めるなど、他の施策に取り組みべきだ。当初予算に沿って、早

めの対応に努めていれば再度の補正は不要であったはずである。

9月補正で承認した範囲内で、初期の目的を果たすことを考えるべきであり、今回の増額は不要と判断し、反対する。

**賛成**

瀧田均 議員



この補正予算は、邑学館新館別棟整備事業で、資材高騰が続く工事費の不足が見込まれるための増額補正である。

増額分も含めた財源のほとんどが有利な起債で賄われている。

今回提案された予算額は、専門の第三者機関で設計額の精査をしたもので、適正な設計額が算出されている。

2回連続で補正予算が組まれることは異例では

ある。しかし、高校生からの意見聴取などはもう少し早い時期に行うべきであったこと、適正な設計額の算出について、早い段階からの第三者機関の関与が必要だったことについて、質疑の場町長から遺憾と反省の意向が示された。

この事業については、矢上高校や生徒の意見も聞き、その希望も反映されている。一刻も早く完成させ、生徒が充実した寮生活を送れることを希望する。

以上のことから、現在の計画どおり事業を進めるべきと考え賛成する。

**反対**

大屋光宏 議員



この事業は3億円を超える大型事業であることや、原材料価格の高騰な

どにより適切な事業費算出が難しかったことは理解できる。しかし、他の建設工事と比較して、事業の遅れが際立っている。

また、11月臨時会において工事完了予定を来年度とする入札を行うために繰越明許費の設定を行ったが、事業費が増額になる可能性には触れられていない。予算編成議決の時期に問題はなかったのか。

加えて、補正額の大きさも気になる。当初予算と比較すれば1億2040万円、率にして32%の増額となる。9月補正時に設計見直しによる1370万円を削減したことは理解するが、更なる節減の可能性について前向きな返答がない。

事業の必要性は認めるが、これまでの事務の進め方、更なる経費節減への努力の姿勢が見られない。9月補正の範囲内で取り組む方法もあることから反対する。

## 請願・陳情

高速バス停の施設改善(点字ブロック設置、その他)に関する請願

**採択**



総務教民常任委員会  
平野委員長

この請願は、邑南町社会福祉協議会会長、日野原哲夫氏、邑南町身体障がい者福祉協会会長、水野正行氏、あいサポートセンターシャワー虹の会会長、寺本慎司氏より提出されたものです。

障がい者や高齢者が高速バスを利用する際、点字ブロックや手すり等、利用に支障のある設備の改善を県など関係機関に働きかけるよう求めるものです。

総務教民常任委員会では審査した結果、全員一致で採択し、県に対して意見書を提出しました。

屋根付きテニスコート設置の陳情

**採択**



産業建設常任委員会  
和田委員長

この陳情は、羽須美ソフトテニス連盟会長、藤原光三氏、はすみスポーツ少年団団長、上田康典氏から提出されたもので、はすみ交流センター付近に屋根付きコートの設置を望むものです。

産業建設常任委員会では審査した結果、屋根付きテニスコートの設置は、スポーツ振興や、交流人口の増加などに寄与するものであり、全員一致で採択し、陳情書を町長に送付しました。

## 9月臨時会 議案の ゆくえ

9月27日に臨時会を開催し、人事案件1件、指定管理期間の変更1件、一般会計補正予算2件を

全員賛成で可決しました。人事案件は、大橋寛氏を新教育長に任命同意するものです。指定管理期間の変更は、霧の湯の指定管理期間を令和6年3月末から令和4年9月末に変更するものです。補正予算は、新型コロナワクチン接種費用と令和4年10月以降の霧の湯の管理費用です。

## 11月臨時会 議案の ゆくえ

11月4日に臨時会を開催し、人事案件5件、補正予算1件を全員賛成で可決しました。

## 12月定例会 議案の ゆくえ

人事案件は、教育長、教育委員会委員の任命同意と固定資産評価委員会委員の選任同意です。補正予算は、新型コロナ対策と物価高騰対策の追加です。

他に、邑学館の繰越明許費を定めました。

12月定例会では、一般会計補正予算が3件提出されました。第8号と第10号は10ページで説明したとおりです。第9号は、光熱費・燃料費の高騰による増額補正などです。第8号は、期末手当支給に間に合わせるため先議としました。1定例会で、3件の補正予算が同時に提出されるのは異例のことです。

### 12月定例会 全員賛成にならなかった議案 ○=賛成、●=反対、- =除斥、欠=欠席

区分	議案の内容	奈須	鍵本	野田	日高	瀧田	平野	和田	宮田	漆谷	大屋	中村	辰田	結果
条例	学校給食費条例の一部改正	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	個人情報保護法施行条例の制定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
	子ども条例の制定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
予補正	令和4年度一般会計補正予算第10号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	

### 令和4年度 9月・11月・12月補正

	当初予算の額	9月補正後の額	9月臨時会補正額	11月補正額	12月補正額	12月補正後の額
一般会計	138億6210万円	142億2656万円	3426万円	1億6569万円	2億232万円	146億2882万円
国民健康保険	14億7900万円	14億9086万円	-	-	24万円	14億9110万円
直営診療所	1億850万円	1億2135万円	-	-	175万円	1億2310万円
後期高齢者医療	3億8200万円	3億8390万円	-	-	15万円	3億8405万円
下水道	10億2200万円	10億1304万円	-	-	1686万円	10億2990万円
電気通信	6億9100万円	6億9100万円	-	-	-	6億9100万円
特別会計合計	36億8250万円	37億15万円	-	-	1900万円	37億1915万円
総合計	175億4460万円	179億2671万円	3426万円	1億6569万円	2億2132万円	183億4796万円

### 令和4年度水道事業会計 12月補正

		当初予算の額	9月補正後の額	12月補正額	12月補正後の額
収益的収支	収入	4億3490万円	4億3490万円	-	4億3490万円
	支出	4億1465万円	4億2622万円	488万円	4億3110万円
資本的収支	収入	2億9335万円	3億1227万円	150万円	3億1377万円
	支出	4億7552万円	4億9443万円	539万円	4億9982万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

# いっぱん質問

## 質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	野田 佳文	(1) ポストコロナ誘客PV事業について (2) 邑南町ガイドブックについて (3) 地域資源の活用について	17
2	中村 昌史	(1) 邑南町教育の将来について (2) 社会教育の現状と将来について	18
3	日高 八重美	(1) 小中学校給食費の無償化について (2) 加齢性難聴者の実態把握と (3) 高校生への子育て支援について 補聴器購入費の助成について	19
4	宮田 博	(1) 令和5年度予算編成と事務事業 について (2) 国・県・町道路周辺の整備と河川整備 について (3) 全国瞬時警報システムの伝達を受けた 場合の対応について	20
5	漆谷 光夫	(1) 教育長がめざす教育方針は (2) 小中学校のいじめ問題の取組みは	21
6	大屋 光宏	(1) 「誰ひとり取り残さない」の意味は (2) 今後の産業振興のあり方について	22
7	鍵本 亜紀	(1) A級グルメと日本一の子育て村 について	23
8	辰田 直久	(1) 持続可能な町づくりに最も大切な ことは (2) 商工農福連携による相乗効果は (3) 町の情報発信の考え方は	24

## ガツテン!! 一般質問

令和4年11月2日の邑智郡町村議会議長会研修会で「役所を動かす質問の仕方」についての講義を受けました。

質疑・質問・討論の意義の中で、質問は、「問題点を質し、解決策を提案できる」もので『課題解決（政策提言）』が目的であると教わりました。

また、一般質問は3つのタイプに分けることができます。

『目的主張型』  
政治的課題について自らの立場と意見を表明することが目的。

『課題・責任追求型』  
政治的課題について責任を追究し、政治的インシアティブを握ることが目的。

『政策提案型』  
住民ニーズのある課題について、解決のための施策・事業を提案し、執行部に予算化・条例化させることを目的。政策提案を執行部のマネジメ

ントサイクルに乗せ実現させる一つの大きな機会。

また、質問における『成果』は、次の3点です。

- ① 住民への明確な情報提供
- ② 隠れていた重要な課題を見える化
- ③ 課題解決のための政策を提案し実現

成果を出すためには段取り、準備が必要であり、1回の質問で終わらせるのではなく、テーマを持ち続けることも大切です。

講義の中で、個人的に、一番心に残った講師の言葉があります。

「何をしたいから議員になったのか、自身のテーマを追いかけろ」

同じテーマを追いかけながらも新しい課題を見つけ、どういった質問が町を良くできるのか、町の隅々まで出かけ質問に活かしたいと思います。

(野田佳文)

野田佳文 議員

地域資源、千丈溪の活用を

課長 SNSを活用したPR実施する



野田佳文議員

千丈溪は観光資源として活用されているのか。観光分野での現状と今後の展開、また、ウォーキングの開催の他、自然観察、水源かん養保安林などさまざまな学びの場が周辺にあり、観光分野以外での千丈溪の活用についての考えを問う。

白須産業支援課長

千丈溪の自然歩道の管理は、地元の日和地区総合振興協議会に委託している。協議会とも連携し、パトロールや補修などを進めていきたいと考えている。

今後の活用については、秋の紅葉シーズンには特に入込客が多く、行楽シーズンに併せて、イ

ンスタグラムなどのSNSを活用したPRなどを実施していきたいと考えている。

また、教育委員会や観光協会、地元団体などとも連携しながら、千丈溪に生息する動植物の観察会や清掃活動などを兼ねたウォーキング大会などの開催の可能性について検討していきたい。

野田議員

遊歩道の一部（白藤滝に降りる階段）に黄色いテープが張っており、入ることができない場所がある。県立自然公園なので、破損個所については、県が整備するのか。また、江津市との連携はどのようなになっているのか。

白須産業支援課長

簡易な補修などは、日和地区総合振興協議会にやっていただいている。大きな補修箇所については、町の方で補助事業を導入しながら、実施していくことになる。

現場を改めて確認し、今後の対応を考えていきたい。また、江津市との

連携についても、二つの市町にまたがる観光施設であるので、江津市の担当課ともしっかり連携しながら、整備、活用を進めていきたい。

問

新たな邑南町ガイドブックの作成は

野田議員

観光MAP以外の新たな邑南町ガイドブックの制作についての考えを問う。

答

情報集約を検討する

白須産業支援課長

町の情報が1冊に集約されたガイドブックは現在作成していない。町の観光情報などを1冊にまとめるとなると、掲載する情報も広く、多岐にわたり、町の魅力や観光情報などを総合的にわかりやすく掲載していく必要がある。

紹介された事例を参考に、ガイドブックの用途などをしっかりと整理して、より魅力のある情報

提供の媒体について、検討していく必要があると考えている。

野田議員

委託すると予算がかかる。作成する場合、写真やライターを関係人口で募集する方法もある。

また、観光以外の情報を入れると各課の対応も必要となる。検討委員会なるものを立ち上げて、まずは必要性から検討し

てはどうか。

白須産業支援課長

関係人口などを活用して準備する方法もあると思う。検討していく。

その他の質問

野田議員はその他に、ポストコロナ誘客PV展開事業について、質問しました。



千丈溪の一ノ滝

中村昌史 議員

# 「地域とともにある学校」 具体的な姿を

**教育長** 邑南づくり教育計画で示したい



**大橋教育長**

「地域学校」と「地域とともにある学校」は、地域総がかりで育んでいく上で重要なことだ。今後、地域への力添えをいただきながら、育んでいきたい。

**中村議員**

地域と学校との連携を突き詰めていくと、学校運営にも、地域が参画せざるを得ないようになる。コミュニティスクールも見据えた将来像を教育委員会から示す必要がある。

また、学校による温度差、教職員の温度差がある。ふるさと教育のプログラム化も進めるべきだ。

**大橋教育長**

今年度は「邑南づくり教育計画」の見直しの年である。そこで、コミュニティースクールやプログラム化も含めて、いまだ一度方向性を明確にした

**中村議員**

学校と連携できる地域の範囲というところで学区がある。それを踏ま

えて、学校の統廃合に関する考え方は。

**大橋教育長**

現在のところ、考えはない。小規模校のメリツトを最大限に生かす方向で今後、取り組んでいきたい。

**問** 公民館のあり方は

**中村議員**

社会教育について問う。教育委員会では、平成30年9月に、今後の公

**答** 協働づくりの場をめざす

**大橋教育長**

今後とも「協働づくり

民館の在り方として「協働づくりの場を目指す」とされた。今年度の教育方針では「住民自治の実現」についても述べられている。

こうした、公民館を中心とした現在の社会教育の在り方の評価と今後の展開についての考えは。

**中村議員**

「場」を意識した取り組みを進めたい。

現在「地域コミュニティの在り方検討会」で、地域運営組織の必要性について議論がされていると伺った。地域運営組織の育成に対して、公民館が、果たすべき役割は。

**大橋教育長**

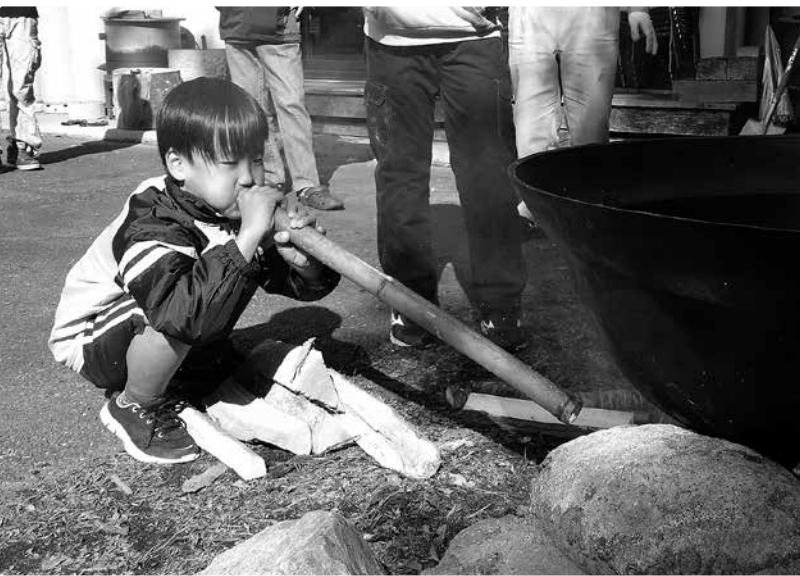
地域運営組織の中に、公民館も含まれるものと考えている。

**中村議員**

私は、持続可能な邑南町であり続けるためには、少なくとも12公民館エリアの地域が持続するということが第1の条件だと考えている。そのため、施設としての公民館の多機能化を訴えてきた。

いきなりの多機能化が困難であれば、現在の地域課題解決のための公民館の在り方について、関係各課、地域との協議が必要と考える。

地域の中の学校、公民館を意識しながら施策の具現化を進めていきたい。



口羽地区での地域学校で大鍋の火おこしをする子ども

日本共産党 日高八重美 議員

# 今こそ、学校給食は無償化に！



町長

## 学校給食のあり方の議論が必要

日高八重美議員

文科省は、新型コロナウイルスの臨時交付金を活用し、物価高騰などに対応した学校給食費の保護者負担軽減に取り組みよう通達している。これにより、給食費の無償化に踏み切った自治体も拡がっている。本町は、なぜ短期間でも無償化するという決断はできなかったのか。

植田学校教育課長補佐

文科省の通達を受けて、本町でも令和5年3月まで、食材費の値上がり分に臨時交付金を活用し保護者負担を抑えている。来年度は、臨時交付金の活用を学校給食の無償化に重点を置くのではなく、広く町民に活用す

るべきと判断した。

日高議員

日本一の子育て村に住む子どもたちに、平等に直接支援ができるのは給食費ではないか。

保護者負担を求めるのは、学校給食法で「食材費は原則保護者負担とする」と明記されているためか。国は、「自治体の判断で全額補助は否定しない」としているが、どのように解釈しているか。

植田学校教育課長補佐

承知している。無償化した場合は年間5100万円の費用が必要。財政状況が非常に厳しい中で、この予算を確保することは困難である。以前より町独自で地産地消分の食材費の5%は、助成しており、生活困窮世帯には就学援助制度の利用も勧めている。

日高議員

給食費を無償化するということは、保護者の経済的な負担の軽減はもちろん、少子化対策、定住・移住の促進にもつながる。このように各課に

関連する事でもあり、無償化については総合的に判断されたのか。

大橋教育長

まずは、学びの機会の保障をして、移住・定住につなげていきたい。給食費については、町独自の助成をしており、現時点では無償化は考えていない。

石橋町長

学校給食費の無償化は国の責任においてやるべきこと。令和5年4月に子ども家庭庁が設置されるが、そのご真ん中に少子化対策として、無償化を掲げてもらいたい。各課連携も必要だが、町民のみなさんにも学校給食のあり方について議論していただきたい。

### 質問二えの

#### 実態調査を

日高議員

難聴は、フレイルや認知症などとの関連性もあるようだ。介護予防の観点から補聴器の必要性についてどう思うか。また、補聴器購入費助成に

ついでの考えかたは。

答 問二えを維持することは必要

小笠原福祉課長

難聴と認知症に因果関係は結論づけられていないが、補聴器を早めに使用して、問二えを維持することで認知機能や生活の質の改善が期待できることは明言されている。難聴の根本的な治療法がないため、認知症やフレイルの予防法としてのひとつの有効な手段と認識している。

購入費については、国の施策として要望に取り組んでいる。問二えの実態把握ができた時点で対応を検討する。

日高議員

6月議会でも難聴者の実態把握についてもとりあげたが、その後検討はされたのか。

坂本保健課長

難聴の兆候に早く気づき、受診につながる事が必要。科学的な根拠

に基づいた保険事業を進めるためにも、国の研究や動向を参考に検討をしていく。

小笠原福祉課長

今年度は、高齢者の生活実態やニーズを把握するための調査が行われる。その中に問二えに関する質問項目がある。保健課とともに、高齢者の問二えに関する課題や実態の把握に努める。

### その他の質問

日高議員は、高校生の子育て支援の内容と高校生までの医療費無料化について質問しました。



# 令和5年度当初予算の編成方針は

宮田 博 議員

課長

## 持続可能な社会づくり、SDGsの追及



宮田博議員

5年度予算編成の基本方針と重点項目には、過去年度の事業評価、本町が取り組むべき事業を、どのように盛り込むのか。

三上財務課長

予算編成の重点項目は、「持続可能な社会づくり、SDGsの追求」をメインテーマとし、サステイマの一つ目は、前年度から継続した「誰ひとり取り残さない、人とながり支え合う町づくり」、二つ目は、表現を変えて「脱炭素先行地域の取り組みによる豊かな町の創造」、三つ目は、「行財政改革のさらなる推進」を新規に追加した。新規に追加した項目

は、内部統制のさらなる推進、行財政改善計画策定の推進、下水道事業の地方公営企業移行である。

宮田議員

今年度の基本方針である、「行財政の改善改革の着実な実行」は、どのように取り組んでいるか。

三上財務課長

今現在は、公共施設等管理計画の改定、事務事業見直しをこれから進めていく段階であり、具体的な成果等は出ていない。

宮田議員

4年度も8箇月経過している段階で、これから進めるとの答弁は、取り組み姿勢を懸念する。5年度の事業方針に関する、町長の所見を求めらる。

石橋町長

今後、財政的には厳しさが出てくることから、事業を検証し、成果が出るようにしたい。

生活支援、インフラ整備などに要する財源を確保しながら、事業のバラ

ンスも考えていきたい。

問 道路、河川の整備が遅れている

宮田議員

国道や県道沿いの支障木の除去を含む整備を、それぞれの道路管理者に要望しているか。

また、町道については、土地所有者への周知を含めた整備状況と、来年度予算に事業費を計上する予定があるか。

答 県への要望と

維持管理を継続

上田建設課長

沿道の民地内の支障木の管理義務は、土地所有者にあるが、高齢者や所有者不明等の箇所も多い。国道・県道については、冬期間の交通確保もあり、道路管理者である、島根県に支障木等の伐採を要望している。

町道については、倒木処理等を建設業者、維持作業員に委託しており、関係の事業費を予算計上



土砂が堆積し、雑草が繁茂した河川

する。

宮田議員

土地管理者に管理義務あることを、広報等で周知するべきである。

町内の河川には、大量の堆積土や雑草が繁殖し、農業用水取水障害の発生、有害鳥獣が生息する所もある。

また、25年災害時の被災が、現在も整備されていない箇所もある。

各河川の管理者への整備要望や、町が管理する河川の整備計画は。

上田建設課長

県が管理する河川の整

備要望は、3年度では59箇所行い、5箇所が実施されたが、箇所数が多いことから、引き続き要望を続ける。

今後は、起債事業ではあるが、防災減災、国土強靱化事業等も活用しながら対応していきたい。

その他の質問

宮田議員は、Jアラート情報伝達による、弾道ミサイル情報や緊急地震速報を受けた場合の行動基準について質問した。

漆谷光夫 議員

町づくりには人づくりを

町長 教育委員会と一緒に取り組む



漆谷光夫議員

町づくりには人づくりが重要と考えている。教育長がめざす教育方針について問う。

大橋教育長

人づくりについては教育委員会も重要な任務であると認識している。

世界へも羽ばたける力の育成と教育の持つ普遍的な役割に加え、主体性を持った地域の担い手育成を目指すことが地方創生の実現につながると考えている。

漆谷議員

今年度の教育行政方針に掲げている担い手の取り組み状況を問う。

大橋教育長

現在進めている地域と共にある学校づくり、学

校とともにある地域づく

りでは、まさに世界へも羽ばたける力の育成をめざし、学校と地域が一体

となつて、目標に向つて取り組んでいる。このこ

とは学校と地域の環境づくり、土壌づくり、システムづくりと認識している。これからの教育行政を進める上で重要な活動

指針と考えている。

漆谷議員

持続可能な町であるため「今」と「これから」を担う人が育つ環境づくりについて問う。

大橋教育長

学校と地域が協働し、役割分担しながら、将来の担い手を育ていくシステムを構築するために地域と共にある学校づくりの取り組みを通して、持続可能な町づくりを見据えた教育が展開できるものと考えている。

石橋町長

人づくりは教育委員会任せではなく、行政、地域が一緒に取り組む大きな課題だと考える。

教育委員会と町長部局が、さらに課題について

話し合いながら垣根をなくしていくことが大きなことである。

問 いじめ相談窓口の設置を

設置を

漆谷議員

昨年度、全国のいじめ認知件数が過去最高と報じられている。本町の昨年度のいじめ認知件数は小・中学校合わせて73件である。学校との連携状況を問う。

植田学校教育課長補佐

本町の件数については指摘の通りで増加傾向にあると感じている。

早期発見で早く報告を受けている。事案によっては学校と連絡を取り、情報の共有と解消に向け学校、教育委員会、各関係機関と連携し、対応している。

漆谷議員

いじめ・不登校の未然防止の取り組みは十分なのか。

児童生徒への対応状況を問う。

大橋教育長

児童生徒に精通した専

門職員の配置、学習・生活支援体制の強化や教育

支援センターとの連携強化のための人の配置を考え、体制を確立していく

必要がある。来年度に向けて環境整備等をしていきたいと考えている。

いじめの未然防止、早期発見、早期対応の方針のもと、子どもたちの状況に応じて一人ひとりに寄り添い丁寧な支援して

いきたいと考えている。

漆谷議員

小さいいじめが不登校や重大事案につながる可

能性がある。

学校任せでなく、いつでも相談できる体制づくりとして教育委員会に

いじめ相談窓口を設置することを提案する。

答 早期に

設置したい

大橋教育長

重要な課題として認識しているので、いじめ相談窓口を早期に設置したいと考えている。



答弁する大橋教育長

# 「誰ひとり取り残さない」とは

大屋光宏 議員

## 町長 多様性を認め合うこと



大屋光宏議員

町長が使われる「誰ひとり取り残さない」の意味は。

石橋町長

多様性を認め合う意味である。さまざまな違いを認め合うことが、私たちがめざす共生社会の実現につながる。

大屋議員

SDGs（持続可能な開発目標）で使われる「誰ひとり取り残さない」と町長の使われる多様性を認め合うための「誰ひとり取り残さない」は意味や使い方がちがうのか。

石橋町長

今の社会は強者の論理がまかり通っている。少数意見を大事にする。本当に声をあげたくてもあ

げられない人に寄り添う気持ちが多様性に通じる。共通した考え方であると思っている。

大屋議員

行政は「誰ひとり取り残さない」観点は重要かもしれないが、一方で制度の運営上基準を設けなければならず、対象外の人がある。

石橋町長

例えば、上水道の給水は供給区域があり全町民が恩恵を受けるわけではない。また、中高生を対象としたフィンランド国際交流事業は邑南町民であっても町外の学校に通う生徒は対象外である。

大屋議員

上水道は生活するうえで、誰もが享受できなければいけない。フィンランド国際交流事業も行きたくても対象にならない人がいる課題はある。検討する。

石橋町長

町長がめざす「誰ひとり取り残さない」共生社会を創るためには、現状把握、特に声をあげたくてもあげられない人たちのおもいをいかにくみ取

るかが大事である。一方で、調査結果の推移が実態を表しているわけではないものもある。

大屋議員

例えば町内のいじめ件数は増えているが、これは定義の変更などもあり必ずしもいじめ自体が増えているとは言えない部分もある。町長はいじめが増えていくことを「恥ずかしい」と言われたが、このような言葉が実態隠しにつながるのではないか。

石橋町長

いじめは絶対許さないという思いから「恥ずかしい」という言葉を使った。誤解がないように努めたい。

大屋議員

従来から何度かA級グルメ構想について質問してきた。いまだに町民理解が進んでいない。「霧の湯の休業」「石見和牛の撤退」などから観光客数などの成果にも疑問がある。

大屋議員

「誰ひとり取り残さない」とは、多様な人々の存在を認め、互いに支え合いながら生きていくこと。それは、SDGsの持続可能な開発目標（SDGs）でも掲げられている。町長が「誰ひとり取り残さない」という言葉を、単に弱者を支援するだけでなく、多様な人々の存在を認め、互いに支え合いながら生きていくこと、を指している。町長が「誰ひとり取り残さない」という言葉を、単に弱者を支援するだけでなく、多様な人々の存在を認め、互いに支え合いながら生きていくこと、を指している。

### 問 A級グルメ構想の終了を

終了を

今後着実な産業振興を行うためには、まずは「A級グルメ構想」を終了すべきでは。

答 まずは検証する

石橋町長

A級グルメは、参加している人は非常に成果があった、良かったといわれている。止めるのではなく必要な機関に依頼して成果と反省を検証して次の段階にすすみたい。

大屋議員

いまだに構想の共感が得られないのはなぜなのか。

非常に厳しい時代である。現場も悠長に待ってられない。来年度予算で検証するのではなく、すぐに検証して、来年度予算では新たな産業振興策に取り組むことを期待する。

鍵本亜紀 議員

A級グルメとは何なのか



町長

一旦立ち止まり考える必要がある

鍵本亜紀議員

10年経ったが、どういうものなのかいまだによくわからない。

白須産業支援課長

町の食を地域資源として観光、人材育成、定住に取り組む中で、経済循環、地産地消による活性化を図るもの。食文化の伝承や普及、有機農業やブドウ「神紅」の産地化などもこの取組みに含まれる。

鍵本議員

町内の飲食店の方々にご協力いただいてA級グルメに関するアンケートを行った。回答の半数以上が、関係ない、知らない、一部でやっていることだ、恩恵なしなどであった。

香夢里は、この9月の

連休に臨時休業しており、3時間かけて来られた予約のお客様を怒らせた。プリペイドの年間半額お食事券もあり、行けば臨時休業という話も聞く。

丁度この3連休の間に邑南町のA級グルメをテーマにした本が、アマゾンの売上ランキング地域開発部門で一位になった。このタイミングで臨時休業とは何事か。

地域おこし協力隊で耕すシェフとして3年間研修し、起業費助成を活用して起業することで人口を増やすというモデルがあったが、起業後も続いている所はほとんど無いことがアンケートを実施して分かった。

耕すシェフの報酬は国の制度で支払われるし、研修費も1人上限200万円が研修先に支払われる。

町の取り組みであるにも関わらず、町民とは何も関係無いところでお金は動き、マスクミが騒ぎ、もてはやされる。だから、

A級グルメは何のことだか分からない。町の取り組みなのに町民を取り残している。

100年先の子どもたちに地元の食材を、郷土の味をとというA級グルメ、子育て日本一を心底考えているのなら、給食が地元産で当たり前だ。子どもを大切に思うなら無料で当然だ。そこにくだわるべきではないか。

この度、物価高騰の影響を受け給食費を値上げの話もあるが、値上げ分273万円はA級グルメ連合に払う250万円とほぼ変わらない。外向けに宣伝するより我が町の子どもたちを大切にしたい。

給食費の無償化は国がやるべきと町長は言うが、子育て日本一を目指しているなら、国が進めていないからこそチャンスだ。邑南町では、地域のおいしい米と野菜でつくる給食が無償なら、喜んで子育て世代が移住して来ると思う。

物価高騰による邑学館の補正が出ているが、寮

生の希望は聞いてトイレやシャワーは減らせないが、給食費は物価高騰により保護者負担というのは納得がいかない。

邑南町の食文化の継承、子どもたちを大事に地域で見守りながら育てたいのなら、地域の方たちと野菜を作り、郷土料理も教わったりすれば良い。地元の歴史を知り、そこで育った米や野菜を食へ、地域の方達と思いを共有し、誇りと自信を持つことこそ、A級グルメで子育て日本一だと思

う。

石橋町長

A級グルメも子育て日本一構想も、始めてから年月が経っている。一旦立ち止まり考える必要があると思う。



耕すシェフの研修先となっているレストラン香夢里

# 持続可能な町づくりに 最も重要なことは

辰田直久 議員



## 課長 支え合う人口定住対策

**辰田議員** 町は、持続可能な町づくりと人口定住対策との関連性をどのように捉えているか。

**田村地域みらい課長** 持続可能な地域づくりに人は不可欠であり、町づくりにおいて定住対策というのは最も重要なプロジェクトであることは間違いないと考える。

**田村地域みらい課長** 空き家バンク制度のほか、住宅相談センターの設置を行い民間事業者と共同で運営している。また、来年度は空き家所有者向けの相談会を計画して利活用を推進し、Uターンをしっかりと受け入れる。区分については町の12公民館区の各々の資源を生かした町づくりを形成していきたい。

**辰田議員** 南箕輪村は村民が自らロコミで住み易さをアピールして人口増加に繋がっているが、本町もそうなるような環境整備をするべきではないか。

**田村地域みらい課長** そのためにまずは行政だけでなく、関わる町民や事業者が課題に取り組み、持続可能な地域づくりのために協働することが必要だと認識している。

**辰田議員** 持続可能な町には人口確保が大きな命題であり、生活インフラの整備、弱者支援など町民の生活を



商工農福連携にも期待されるブドウ「神紅」

最優先の施策で定住や協働に繋がる行政努力が必要ではないか。

**田村地域みらい課長** すべての施策は目的、目標があり、郷土愛の醸成や子育て環境の充実など必要な対策を行い、人を呼び込める定住対策が必要と考える。

**問 商工農福連携への行政の対応は**

**辰田議員** 農業者の高齢化や人材不足が進む中で、その対策として叫ばれている農業と福祉の連携の本町における取り組み状況は。

**答 仕組みづくりや人材育成に努力する**

**白須産業支援課長** 昨年農福連携と推進協議会を設立し、行政として仕組みづくりや人材育成等に関わっていくこととした。現在ではJAと水稲育苗作業や野菜の出荷作業を福祉施設と連携実施しているところもある。

**辰田議員** 農業と福祉に商工を加え一連の流れの中で、どこにも相乗効果を生み出すような連携の可能性と、それを行うために行政として仲介役を果たすことはできないか。

**白須産業支援課長** 農工商、農福連携を進める上では様々な課題もあり、作業内容による指導方法、安全の配慮、障がい等の特性などによる負担を商工、農業者側と福祉側の条件対応のためにマッチングを行うコーディネーターが必要と考え、行政としても推進協議会を通じ関わっていく。

### その他の質問

このほか、辰田議員はコロナ禍における町長の情報発信について、邑南町の実状を反映した情報提供はできないかと質問し、石橋町長は県知事の方針や町の医療対策会議を踏まえて発信しているが、町民の過度な萎縮に繋がらないような伝え方も考えてみたいと答えました。

# 連合常任委員会視察報告

## 長野県原村、南箕輪村 農林水産省を視察



原村役場まえでの集合写真

「今年は、コロナ禍で中止となっていた議員視察に行ってきました。」

霞ヶ関の農林水産省では、スマート農業について最先端の技術や中山間地域での活用方法など伺いました。こちらでは、市木に祖父の家があり、実際に市木で稲作をされているという方が対応してくださり、大変身近に感じました。邑南町ではどのように活かせるか、思いを巡らせました。

その日のうちに長野県茅野市へ移動し、次の日は「日本一美しい村連合」

に加盟している原村を視察しました。邑南町のような子育て支援や郷土学習、空き家対策など人口減少対策に取り組んでおられます。都市部とのアクセスも良く、別荘地での2拠点生活も推進されています。また、66歳以上の高齢者と、高校卒業までの子どもの医療費が無償などで、人口は昭和51年度以降ほぼ横ばいから微増し続けているという村です。

続いて諏訪湖の南に位置する、南箕輪村を訪問しました。こちらは長く子育て支援を続けておられ、併せて働く女性支援にも熱心に取り組んでおり、人口が増加し続けています。副村長の説明によれば、早くから子育て支援、女性支援に取り組んできたことが功を奏しているとのことでした。

出迎えてくれた課長、議会事務局長が女性で、管理職も6割が女性だということ、働く女性支援もリアル感があり、結果も出ている村です。そして、住民の口コミで移住



女性管理職が多い南箕輪村

者が増えており、住民の取り組みが功を奏している、最高の結果が出ている村でした。

最終日には、衆議院議員会館の高見康裕議員を訪問し、その後、国会議事堂を見学し、国政の現場に触れました。

今回は一期議員にとっては初めての視察で、戸惑いや驚き、色々ハプニングもありましたが、この経験を活かしていきたいと感じます。

### ご意見をお寄せください

この広報に限らず、議会のことについてご意見、ご質問などがございましたら、気軽にご連絡ください。

連絡先：邑南町議会事務局  
TEL：0855-95-1113  
I P：050-5207-3021

### 三階席

12月定例議会に物価高騰による小・中学校の給食費の改定や邑学館整備事業費の補正予算が上程された▼ロシアのウクライナ侵攻や円安で国外に食材や建設資材など、輸入品に依存する日本の弱点を痛感する▼一握りの権力者により世界は激変し、多くの尊い命と平和な生活を奪う無益な破壊行為や歪行に憤りを覚える▼昨今、新型コロナ・物価高騰・円安とトリプルパンチの逆風であるが止まない雨はないことを信じて！▼一方、嬉しいことは町民議会に16名の議員が誕生し、12名の議員が質問され、多くの傍聴者もあり、議場に普段とは違う緊張と熱気を感じた▼町民議員の邑南愛や町政に関する熱い思いの質問を拝聴して邑南町の明るい未来を予感した▼町民議会の活力が全町に広がることを期待している。

(淡合)

# 迎春 2023 邑南町議会

新春のお慶びを申し上げます



職員	職員	係長	事務局長	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	副議長	議長
金川	中村	植田	井上	辰田	中村	大屋	宮田	和田	平野	瀧田	日高	野田	鍵本	奈須	石橋
理奈	さやか	靖子	義博	直久	昌史	光宏	博	文雄	一成	均	八重美	佳文	亜紀	正宜	純二

## 編集室の窓



時が経つのは早いもので、初めて編集後記を書いてから2回目になりました。

編集ソフトを利用し、自身の一般質問の編集には慣れましたが、ページ割付けは先輩議員にお願いしています。

正直、なかなか編集ソフトを使いこなすことができません。情報発信が得意であっても必ずしもパソコンに精通しているのではなく、編集ソフトを使いこなすには更なる努力が必要です。

しかし、使いこなせることだけではなく、いかに読みやすい、読んでいただける広報にするのが大切です。

令和5年5月には委員会の構成替えがあります。特別委員会から常任委員会になる新たな委員会に私は所属しているのでしょうか。

(野田佳文記)